

和・創造



暖子

炉暖

ろだん



暖吉

第55号

発行 社会福祉法人炉暖会
特別養護老人ホーム炉暖の郷
〒410-0001 沼津市足高字尾上24-24
TEL055-927-3939 FAX055-927-3938
(事務直通) FAX055-922-0889
HPアドレス <http://www.rodankai.com/pc/>

祝 年男・年女



理事長新年の挨拶 2
施設の取り組み 3
炉暖祭 4・5

本日のお品書き 6
編集後記 6

毎月の行事をブログに掲載しております。パソコン・携帯からアクセスお待ちしております♪



炉暖の郷
www.rodankai.com/

Instagram
始めました。



RODANKAI.OFFICIAL

謹賀新年



ご挨拶

社会福祉法人 炉暖会
理事長 後藤 政美

新年あけましておめでとうございます。

日頃より炉暖の郷の施設運営に御支援、御協力を賜り厚く御礼申し上げます。当施設では昨年の創立20周年を機にICTを導入いたしました。介護報酬改定で生産性向上が取り上げられ、各部署に業務改善の指示を出し、以前の業務を洗い出し、早番、日勤、遅番、夜勤の業務をタイムスケジュール順に作成し、導入機器で新たなタイムスケジュールを作成し、職員の業務負担を軽減し空いた時間で入所者に対するケアの質を高めるために有効な手段として導入しました。夜間の訪問の回数や体重測定の手間が減り、見守り機器で職員の心理的負担を軽減し、音声入力による介護記録システムやタブレットを導入することで、入所者の状況把握や異業種の職員間のスピーディーな

情報連携により職員の業務軽減をはかりました。

円安と戦争が原因の原材料のコスト高から始まった物価高騰は、脱デフレへの政府による政策誘導も相まって今後も続く予想されます。介護施設での物価高騰は主に人件費、食材費、水道光熱費等です。人件費は昨年10月に最低賃金が50円以上引き上げられ、食材費は米の1kgあたりの単価が200円以上値上がりしたのをはじめ、材料費は毎月大量の品目で値上がりが続きました。電気料金は新たに税金が追加され、さらに夏季の高温が長期にわたり例年10月、11月には休止していたエアコンが、昨年は冷房から暖房へと休みなく稼働していました。昔は「暑さ、寒さは彼岸まで」と言われていましたが、昨今は季節の境目が失われてしまったようです。

本年はICTを導入してからまだ1年未満ですので、有効活用しているとは思いません。見えてきた課題を一つ一つ洗い出して優先度を確認し、施設にもっとも有効な方法を生産性向上委員会を使い勝手などを含め検討し、結果を出す重要な年と考えております。昨年は民間の老人ホームや小規模なデイサービス、ショートステイの倒産件数が前年比で増加しており、全国で2か所の特別養護老人ホームの閉鎖がありました。(鹿児島と沖縄)原因は物価高騰や人件費の上昇で経費負担が増したことや、職員採用難といわれております。当法人は令和5年度、6年度は将来への設備投資としてICT機器、LED化を導入しましたが、本年は業務改善と経費削減に邁進し、職員確保はネパール人の介護職員を順次採用してまいります。

今後ともより一層の御指導、御鞭撻を賜りますようお願い申し上げますと共に、皆様方のご多幸を心よりお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



スマートクロック

近年では東西南北における電気設備増加が目立ち、山梨県北杜市のソーラーパネル設置や千葉県・福岡県の洋上に洋上風力発電を国内初設置といった原発だけではなく発電が模索されています。昨今の物価高で電気代も右肩上がりとなっており炉暖の郷では電気の使用を数字で見やすくするために日本テクノのスマートクロックを導入しました。電力の消費は外部設置のメーターの数字でしか認識できず、ある意味では目に見えないものの消費であるため意識しにくいものです。その為電力使用量や料金を視覚化することにより、一人一人が電気を意識できるようになり、消費超過を防ぐために効果的な装置です。

スマートクロックは事務所に設置された発信源の機器から消費量・使用金額・今後の使用金額などの情報が各階にあるクロックへと発信される仕組みになっています。また発信源の機器には顔文字で現在の使用率がわかりやすくなっている機能が備わっており、一目で電力

消費の危機感を察知することができます。

これら多彩に備わった機能を駆使し、職員一人一人がホールの電気使用や居室の冷・暖房の消し忘れ等、消費を抑える意識を高め節電を行っていくことで電気代も抑えることができ、SDGsの取り組みにもなります。かしこく電気を使いお財布にも環境にもよい生活を心がけます。



防災訓練

11月7日、総合防災訓練が行われました。これは災害が起きたときにどのように避難誘導をし、どのような情報伝達をするのか、けが人等の救急対応や炊き出し等複合的な内容で本格的な訓練です。

防災委員会を中心に全職員と利用者様も訓練に参加しました。訓練の様子を簡単に紹介します。

時刻は10時。地震が発生(仮定)しました。まずは利用者様と職員との安全確保を行います。揺れが収まったら人的・物的被害の把握及び情報伝達です。各部署のリーダーが利用者様や職員の安否確認等の情報を集め、災害本部に伝え、施設内の状況把握をします。それと同時に避難誘導開始です。利用者様に防災頭巾をかぶってもらい、安全な場所に誘導します。避難状況を本部に伝えたら利用者様との訓練は終了です。しかし訓練はまだまだ続き、次は救急対応訓練です。避難者の救急対応として看護科によるけが人のトリアージ、処置等を行いました。今回は防災備蓄庫の確認もしました。いざというとき物品がどこにあるのか知らなければ困ってしまいます。多くの職員が防災備蓄



庫の中に入りどこにどのような物品があるのかを確認しました。最後の訓練は給食委員が中心となり炊き出し訓練です。食料・ガスボンベ・釜を準備し炊き出しを行いました。今回はアルファ米のまぜご飯です。全ての訓練に参加していた理事長の講評をもつて総合防災訓練は終了しました。総合防災訓練をしてみて、実際やってみないとわからないことも多く、訓練は大事だと実感しました。災害はいつやってくるかわかりません。日ごろから訓練をし、万が一に備えます。

き物品がどこにあるのか知らなければ困ってしまいます。多くの職員が防災備蓄



第17回 炉暖祭!!



今年も無事開催することができました。
おいしいものを食べ、ご家族の方にも参加していただき、笑顔いっぱいの炉暖祭となりました。



～遠足・秋の大宴会～

気持ちよく仕事をするには遊びも大事。炉暖の郷では【仕事も遊びも全力投球】を合言葉に日々を過ごしています。さてさて本日のメニューは…。

とある日の良く晴れた暖かい日の午後、遠足に出かけました。外の空気を感じながらグルメも堪能する企画で駿河湾沼津SAへ行ってきました。コロナがあり数年ぶりの遠足に利用者様だけでなく職員も



笑顔。「久しぶりに呑みたいな～」との声が聞こえ、さつま揚げ片手にビール(ノンアル)を楽しんだり、「あなたも食べな～」と利用者様の暖かいお声がけに職員もおこぼれを頂戴したり、試食のカレーせんべいが気に入りお土産を買ったり、テラスから外を眺めたりと思い思いの時間を過ごしました。楽しい時間はあっという間に過ぎ、『施設に帰るまでが遠足です』をスローガンに皆様体調を崩すことなく無事帰ってきました。

とある日の夜、秋の大宴会が開催されました。今年は御殿場高原ビール麦畑で食べ放題、飲み放題の大宴会です。

参加人数50名弱とかなりの大所帯で、呑んで・食べて・食べて・呑んでと賑やかな時間です。外の寒さなんて何のその。会場は熱気に包まれていました。想像してください。黄金に輝くビールに、ローストビーフ等様々な料理。盛り上がらないわけありません。シフトを組んで仕事をしているため普段なかなか会わない同僚の生存確認をし、皆で大笑い。日ごろのストレスも飛んでいきます。宴もたけなわですが無情にも終了時間となり三々五々に帰宅の途につきました。もちろんお酒を飲んだら車の運転はだめですよ。



編集後記

新年おめでとうございませす。私事ですが入社した年に発行された機関誌第37号の編集後記に『今年一年は良い年になる。そう思うと本当にその年は良い年になったと聞いたことがあります』と書かれていました。自分の強い意志がその年を良くするのならば『今年はお正月タイプに笑顔で日々を明るくしていく』ことを胸に行動したいと思います。

日々明るくといえは今炉暖の花壇は春に向けて色とりどりの花を植えています。今はまだ小さいですがもう少し暖かくなれば賑やかな花壇となり皆様の目を楽しませてくれるでしょう。

寒い日はまだ続きます。

体調管理を心がけ良い年になるよう今年も炉暖の郷をよろしくお願います。

